

令和7年度 評価規準

江戸川区立葛西第二中学校

教科	技術家庭(技術分野)	学年	第2学年
----	------------	----	------

単元名	月	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コンピュータと情報通信ネットワーク	4～6月	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>□コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアを知る。</li> <li>□身の回りにおける入力装置と出力装置を知る。</li> <li>□情報技術の特性を理解し、情報が社会に与える影響を知る。</li> <li>□望ましい情報社会のために私たちが取るべき態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハードウェアについての知識を理解している。</li> <li>○ソフトウェアについて、さまざまな種類があることを理解し、それらに共通する分類についての知識を理解している。</li> <li>○コンピュータの5つの機能とその機能を果たす具体的な装置についての知識を理解している。</li> <li>○インターネットのプラス面やマイナス面についての知識を身につけている。</li> <li>○デジタル化した情報のプラス面やマイナス面についての知識を理解している。</li> <li>○知的財産権の意味や内容、知的財産を守ることの必要性についての知識を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハードウェアについての知識を身に付けている。</li> <li>○ソフトウェアについて、さまざまな種類があることを理解し、それらに共通する分類についての知識を身に付けている。</li> <li>○コンピュータの6つの機能とその機能を果たす具体的な装置についての知識を身に付けている。</li> <li>○インターネットのプラス面やマイナス面についての知識を身に付けている。</li> <li>○情報の技術の概念について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンピュータの機能や装置に関心を持ち、具体的な装置の機能についてまとめようとしている。</li> <li>○情報通信ネットワークを利用するにあたって、発生する可能性のある問題について、最近の事例などを挙げながら、調べようとしている。</li> <li>○人権や知的財産権の侵害など、情報発信に伴って発生する可能性のある問題や発信者としての責任を踏まえ、情報社会において適正に活動しようとしている。</li> </ul>
4編2章 デジタル作品の設計・制作	6～7月	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>□デジタル作品の制作手順を知る。</li> <li>□デジタル作品を設計し、制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○制作手順や情報の受け手を意識した設計についての知識を理解している。</li> <li>○制作手順や情報の受け手を意識した設計を理解し、表現したい方法に合わせた設計についての知識を理解している。</li> <li>○デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法についての知識を身につけている。</li> <li>○デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法について理解し、著作権者への許諾方法についての知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○制作手順や情報の受け手を意識した設計についての知識を身に付けている。</li> <li>○デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法についての知識を身につけている。</li> <li>○入出力されるデータの流れをもとに制御システムを構築する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法についてのまとめることができる。</li> <li>○入出力されるデータの流れをもとに制御システムを構築しようすることができる。</li> </ul>
エネルギーの変換と利用	8～12月	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>□エネルギー変換について知る。</li> <li>□エネルギー変換効率について知る。</li> <li>□さまざまな発電方式の特徴と課題を知る。</li> <li>□電源の種類と特徴を知る。</li> <li>□送電の方法を知る。</li> <li>□電気エネルギーを利用する仕組みを知る。</li> <li>□電気エネルギーを、光、運動、熱などのエネルギーに変換する仕組みを知る。</li> <li>□電気による事故の原因を知り、防止する方法を知る。</li> <li>□機器の異常や不具合の状況を、ほかの人に説明できる。</li> <li>□機械を安全に利用するためには、保守点検が必要であることを知る。</li> <li>□身近な機械の保守点検ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会で利用されている機器などにおけるエネルギー変換についての知識を理解している。</li> <li>○発電方式の特徴と課題についての知識を理解している。</li> <li>○電源の種類や特徴についての知識を理解している。</li> <li>○送電・配電の仕組みや電気を安定的に供給するための仕組みについての知識を理解している。</li> <li>○電気機器の構成、役割についての知識を理解している。</li> <li>○身の回りの電気機器の安全な使い方や注意点についての知識を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発電方式の特徴と課題についての知識を身に付けている。</li> <li>○電源の種類や特徴についての知識を身に付けている。</li> <li>○送電・配電の仕組みや電気を安定的に供給するための仕組みについての知識を身に付けている。</li> <li>○電気機器の構成、役割についての知識を身に付けている。</li> <li>○身の回りの電気機器の安全な使い方や注意点についての知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気を使用した製品に興味を持ち、電源の種類や特徴について調べようとしている。</li> <li>○電源の種類や特徴について調べ、どのような機器に利用されているか考えようとしている。</li> <li>○電気の事故防止に興味を持ち、進んで電気事故の防止について考えようとしている。</li> <li>○電気の事故防止に興味を持ち、自分の家や学校などでの活用を想定したうえで、進んで電気事故の防止について考えようとする。</li> </ul>
製作品の設計・製作	1～3月	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>□エネルギー変換について知る。</li> <li>□エネルギー変換効率について知る。</li> <li>□さまざまな発電方式の特徴と課題を知る。</li> <li>□電源の種類と特徴を知る。</li> <li>□送電の方法を知る。</li> <li>□電気エネルギーを利用する仕組みを知る。</li> <li>□電気エネルギーを、光、運動、熱などのエネルギーに変換する仕組みを知る。</li> <li>□電気による事故の原因を知り、防止する方法を知る。</li> <li>□機器の異常や不具合の状況を、ほかの人に説明できる。</li> <li>□機械を安全に利用するためには、保守点検が必要であることを知る。</li> <li>□身近な機械の保守点検ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気用図記号の意味を理解できる。</li> <li>○定格表示の意味やたこ足配線の危険性を知り、配線に流れる電流を読み取って定格値と比較することができる。</li> <li>○機械の点検すべき箇所を見つけ、保守点検と事故防止ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気用図記号の意味を理解し、電気回路の設計、製作の知識を身に付けている。</li> <li>○定格表示の意味やたこ足配線の危険性を知り、配線する知識を身に付けている。</li> <li>○機械の点検すべき箇所を見つけ、保守点検と事故防止ができる知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気用図記号の意味を理解し、電気回路の設計、製作活動ができる。</li> <li>○定格表示の意味やたこ足配線の危険性を考えようとしている。</li> <li>○機械の点検すべき箇所を見つけ、保守点検と事故防止について考えようとしている。</li> </ul>